虹の架け橋ニュース

2014/07/22　No.73
発行：みやぎ虹の架け橋復興支援センター
〒989-1758
宮城県柴田郡柴田町槻木駅西 3-11-14
TEL/FAX 0224-86-4862（担当：市川）

７月２０日（日）に今回は尼崎医療生協の職員と組合員７名が参加して、午前中は花釜地区でいちごを栽培しておられる、岩佐清さん一家のビニールハウスで農作業を手伝いました。

岩佐さんは、先祖代々の農家で、震災前からいちごをはじめ、色々な野菜を作っていました。津波に襲われ全部が海水につかり、ビニールハウスも流され、農業を続けていくことをあきらめかけたのですが、多くのボランティアの方々が泥を取り除き整地してくれたおかげで、また再興することができたということです。昨年末には震災後はじめていちごを作り、出荷できたそうです。今年は今から苗を植え十一月末には出荷予定だそうです。

作業後、岩佐さん一家と今回の参加メンバーと一緒に
（　いちご栽培のビニールハウスにて　）

午後からは、みやぎ県南医療生協の山元町にある二つの班会「いちご班」「りんご班」に分かれて参加しました。２つの班会ではそれぞれ、健康チェック（血圧・体脂肪・尿）をおこない、脳いきいき活性化するためのゲームをおこない、山元町の方々との交流を深めました。

その他には、山元町や名取市の被災地を見学、沿岸地域では高さが１０メートル以上もある防潮堤の建設が進んでいます。

「いちご班」の班会のひとこま
“まんから”というゲームで大盛り上がり！

沿岸部に建設中の防潮堤
（宮城県と福島県の県境、福島県新地町から撮影）

今後の支援予定

＊９月中旬　花釜地区３２５世帯訪問行動
　尼崎医療生協・神戸医療生協
＊１０月１１日（土）
　今年もやります！「花釜地区　秋祭り！」